

## “のば” 創成の歌

海 二郎 作詞  
土井 康臣 作曲

- 一、君は知っているか  
野庭の夜明けを  
それは、いのち  
爽々の大気つらぬき  
伝わるは太陽の鼓動  
凛然、肩あげて  
若者は今大地を踏み  
野庭、野庭  
そこに野庭がある
- 二、君は知っているか  
野庭の夕べを  
それは、こころ  
洋々の世紀を思い  
たたずむはあの星の時間  
静影、瞳ぬれ  
若者はいま肩を抱く  
野庭、野庭  
そこに野庭がある
- 三、君は知っているか  
野庭の真昼を  
それは、ちから  
嵐々の動きやまずに  
谷わたる青春の叫び  
峻峭、拳をふり  
若者はいま友と競う  
野庭、野庭  
そこに野庭がある

## “のば” 愛の歌

海 二郎 作詞  
土井 康臣 作曲

- 一、生きているって思うとき  
友よ  
君のかわいいほえみに  
あかね色した空をみる  
木の葉が  
たわむれ落ちるとき  
野庭にまあるい風がふく  
LOVE L Y O H  
LOVE L Y O H  
君の想いを私の胸に  
ほら、雲一つ  
朝日にそまる
- 二、愛してるって思うとき  
友よ  
君のふるえるまなざしに  
うす雲の夢をみる  
小鳥が  
くちすけかわすとき  
野庭に若葉の雨が降る  
LOVE L Y O H  
LOVE L Y O H  
君の涙を私のほほに  
ほら、影一つ  
夕陽に消える

## “のば” 別れの歌

海 二郎 作詞  
土井 康臣 作曲

- 一、友よ、別れの朝が来た  
アキヤマよ  
サノよ、コジマよ  
さよならを言おう  
風は冷たいか  
陽は輝くか  
懐きはゆく、白い道  
ここより過ぎて  
芳しの  
いま、悠揚の門に立つ
- 二、野庭に、別れの時が来た  
すずかけよ  
谷よ、校舎よ  
さよならを言おう  
鳥は羽ばたくか  
樹はさやなるか  
思い出はとぶ、ちぎれ雲  
ここよりめぐる  
まぶしさの  
いま、高鳴りの胸をよす  
さよなら、友よ  
もういちど  
ぬくもりを確かめあおう  
友よ
- （カラカサの部分は思い出しに）  
（残る友の名を入れて歌う）